

# 新しい薬学をめざして

Vol.51 No.7  
2022.9.1

発行 新薬学者集団

〒555-0024 大阪市西淀川区野里3丁目6-8

E-mail sigma-info@faruma.co.jp

一般社団法人大阪ファルマプラン・あおぞら薬局 気付 郵便振替口座 01090-8-16463

TEL 06-6477-8080 (担当 稲垣) FAX 06-6477-8082 URL <http://pha.jp/shin-yakugaku/>

## 特集 書籍解説

### 『子宮頸がんワクチン問題 社会・法・科学』

原題「The HPV Vaccine On Trial」の日本語版 監訳者 別府宏圀

四六版 528 ページ 本体 5,000 円 (税別) ISBN 978-4-622-08990-2

みすず書房 2021 年 8 月 16 日発行

里見 佳子

本書は、HPV ワクチンによる被害の発生を契機に、米国の 3 人の女性（法学博士で元大学教授、法学博士で弁護士、ライターで被害者の母親）が、HPV ワクチンの開発から接種認可の経過、ワクチンの科学、被害の実態について、膨大な資料をもとにまとめ 2018 年に刊行されたものです。主に欧米の事例を中心としていますが、日本についても記述されています。日本の現状については、日本語版にあわせて情報が更新されています。

4 部 29 章から成り、第 1 部「臨床試験」（第 1 章から 12 章）では、臨床試験の段階から被害が出ていたにもかかわらず無視され続けたこと、しかもその臨床試験は不適切なものであったことなどが述べられています。

第 2 部「市場で大ヒットした HPV ワクチン」（第 13 章から 18 章）では、ワクチン認可後メーカーは多大な利益を得たが、その影でワクチンを接種した少女や少年に死亡も含めた被害が出たこと、しかしそれらの被害は無視され続けたことなどが述べられています。その背景として、規制当局がチェック機能を果たしていないこと、メーカーとの不適切な関係、専門家やマスコミを巻き込んだ情報操作があったことなどが、米国とオーストラリアを中心に述べられています。

第 3 部「HPV ワクチンの科学の深層へ」（第 19 章から 23 章）では、HPV ワクチンには何が含まれているのかを示し、それらの役割と危険性、特にアルミニウムアジュバントの安全性に疑問が多いこと、一部の人にワクチン接種後に起きる強い自己免疫反応の機序などについて述べられています。そして現時点では、HPV 感染と発がんリスク、ワクチンの有効性や安全性に

## 目 次

□特集 書籍解説

『子宮頸がんワクチン問題 社会・法・科学』

原題「The HPV Vaccine On Trial」の日本語版

里見佳子 …… 169

本特集は、「新しい薬学をめざして」Vol. 50 No. 8

(2021. 11) ~ Vol. 51 No. 4 (2022. 5) に 5 回連載

したものを一部修正してまとめたものです。